



埋文アラカルト

子供の墓と数珠



東広島市西条町の石佛遺跡^{いしぼとけ}は、中世～近世にかけて墓地として利用され、53基の墓がみつかっています。

そのうちの一つであるSK67からは、3～4才の幼児の歯がみつかりました。幼児は木の棺桶に入れて埋葬されており、ガラス製の玉が供えられていました。玉は、全て直径4～5mmほどの小さなもので、一部割れたものも含め128点出土しました。色は緑(49点)・深緑(25点)・白(54点)の3色があり、数珠として使われたと考えられます。

石佛遺跡でみつかった53基の墓のうち、副葬品をもつものはSK67を含めて4基のみであり、ほかの3基は大人の墓で全て古銭です。これは当時の俗信である、三途の川の渡し賃として入れられたものと考えられます。

同じように広く浸透していた俗信として賽の河原があります。親より先に死んだ子供は、親不孝の報いとして賽の河原で石を積んで塔を作りますが、完成直前になると鬼が来て壊されるため何度も何度も同じ作業を繰り返すというものです。

子供の年齢が3～4才であることや、ガラス製であることから、生前の持ち物とは考えにくく、幼くして死んだ我が子の安らかな死後を願って、親と一緒に納めたと考えられます。



石佛遺跡 SK67 出土ガラス製数珠玉

お問い合わせ

埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目8-49 TEL (082) 295-5751 FAX (082) 291-3951
ホームページ <http://www.harc.or.jp/> E-mail: maibun@harc.or.jp



アッコちゃんの

健康・体カワンポイントアドバイス

健康・体カサポートセンター
健康運動指導士
川原 明子



▶ 座位もも上げ ①～②の動作を片脚ずつ 左・右10回×2セット 行う。

足の付け根の筋肉(腸腰筋)を鍛えます。お風呂に入ったり階段を上ったりするとき、ももを楽に上げられるようになります。

1



- 足は腰幅に開き、つま先とひざを同じ方向に向ける。
- 視線は前を向く。
- 手はイスに添える。

2



- 上半身の状態は良い姿勢を保ったまま、太ももを上げたり下ろしたりする。
- 4秒で上げて、4秒で下ろす。(上げる動作、下ろす動作ともに、ゆっくりと行う。)

ポイント

おなかに力を入れて、腰が反らないようにする。

スポカルについてのお問い合わせは

広島県立総合体育館

〒730-0011 広島市中区基町4-1 TEL (082) 228-1111 FAX (082) 228-4992
ホームページ <http://www.sports-hiroshima.jp/hpsc/index.shtml> E-mail: g-arena@sports.pref.hiroshima.jp

編集発行/公益財団法人広島県教育事業団 令和2年(2020年)3月31日発行

